

議会だより

2023.10.27

No. 199

山梨県昭和町議会

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/>



しょうわ



表紙写真

三味線 手拍子
武田節 ♪

•表題(しょうわ)については
西条小学校 6年1組 藤巻 遼大(ふしまきはると)さん、
6年3組の高野 紗耶(たかのさや)さんと
志村 颯真(しむらそうま)さんの直筆です。

② 令和4年度決算審査

⑤ 9月定例会委員会質疑

⑨ 一般質問 ここが聞きたい

⑱ 追跡 あの質問はどうなった

令和4年度 決算審査

町民ファーストの決算を

認定!!

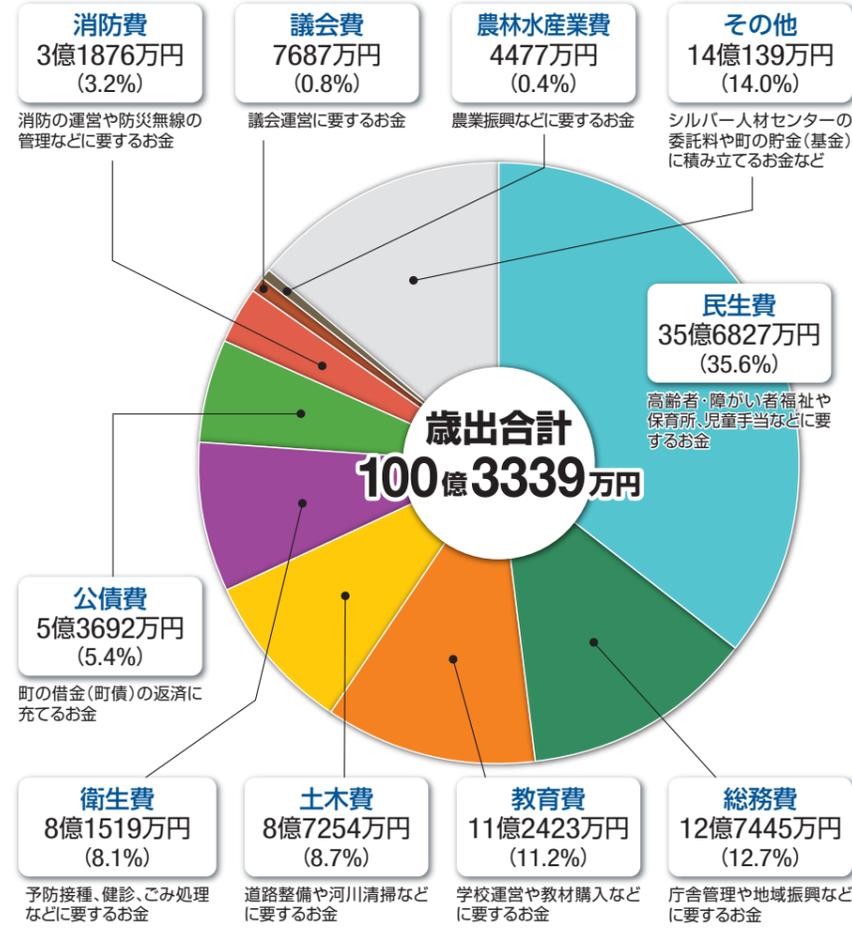
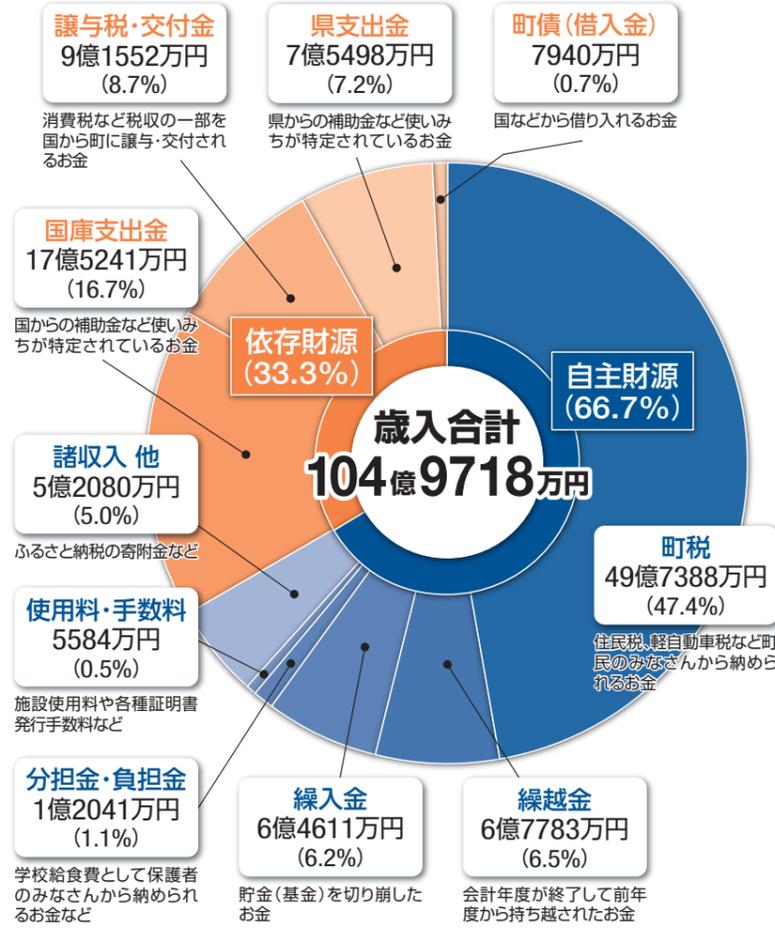
責任ある支出で
コロナ禍を乗り切る

※数値は端数調整しています。

町の借金 (一般会計地方債残高)	
町民一人あたり	前年度比-4億2589万円
14.8万円	31億2011万円

町の貯金 (一般会計基金残高)	
町民一人あたり	前年度比+2億4438万円
23.5万円	49億6521万円

町税の内訳	
固定資産税	25億5213万円
町民税	20億5834万円
町たばこ税	2億8431万円
軽自動車税	7788万円
入湯税	121万円



9月定例会の概要と監査委員の意見

令和5年第3回定例会において、当局より令和4年度一般会計決算と国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護サービス・下水道事業・湧水対策事業の各特別会計決算の議案が提出されました。

また、小林一代表監査委員より、7月24日から8月9日までの10日間で実施された令和4年度歳入歳出決算審査の結果、各決算ともに適法かつ適正に処理されているとの報告がありました。

これに伴い設置された決算審査特別委員会において、全議員で議案の慎重審査を行い、本会議において、すべての決算議案を**全員賛成で認定**しました。

小林一代表監査委員

令和4年度特別会計決算

※数値は端数調整してあります。

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	18億6285万円	18億5023万円
後期高齢者医療	1億9808万円	1億9806万円
介護保険	10億7658万円	10億2350万円
介護サービス	2755万円	2644万円
下水道事業	10億3515万円	10億1736万円
湧水対策事業	3026万円	2856万円
合計	42億3047万円	41億4415万円

昭和町の財政状況

項目	数値	前年度比	説明
財政力指数	1.124	-0.004ポイント	財政力の強弱を示す指標。1を下回ると交付税措置の対象となる。
経常収支比率	87.7%	+5.8ポイント	財政の弾力性を示す指標。数値が高くなると財政の自由度が低くなる。
実質公債費比率	8.8%	-0.1ポイント	公債費による財政負担の程度を示す指標。25%を超えると地方債の発行に制限がかかる。

ほたるんに聞いてみよう!

ねえねえほたるん
歳入の中にある町債ってなに?

町が公園や道路を作るような大きな事業をするために借りるお金のことだよ。



一般会計

~主な使いみち~

<p>民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等給付費: 11億5320万円 ・児童手当: 3億8622万円 	<p>衛生費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチン接種・健康診断等費: 2億588万円 ・一般廃棄物収集運搬処理費: 8263万円
<p>総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品等業務費: 1億4150万円 ・総合行政情報システム借り上げ: 4692万円 	<p>消防費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府地区広域事務組合負担金: 2億8291万円 ・防災無線保守点検費: 466万円
<p>教育費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語指導業務費: 2177万円 ・押原中学校増築準備工事費: 1億4006万円 	<p>農林水産費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道水路改良工事: 284万円 ・農業振興地域農地保全助成金: 383万円
<p>土木費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路用地費及び物件補償費: 1億7989万円 ・公園樹木植栽管理費: 3235万円 	<p>公債費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5億3692万円



9月定例会で決まったこと

令和5年9月定例会は、9月1日から9月15日まで15日間の会期で開催しました。契約関係2案件、条例関係2案件、令和5年度一般会計及び特別会計補正予算関係6案件、令和4年度決算の認定関係7案件、請願2案件、委員会提出議案1案件、議員提出議案2案件、その他1案件の計23案件を審議しました。

詳細は11月末更新予定のHPの会議録をご覧ください ※小林耐三議員は議長のため、採決には加わっていません。

案件名	内容	審議結果
(仮称)昭和田商工振興センター整備工事請負契約締結の件	条件付き一般競争入札に付した(仮称)昭和田商工振興センター整備工事の請負契約締結	可決
押原公園防災備蓄倉庫内パレットラック設置請負契約締結の件	指名競争入札に付した押原公園防災備蓄倉庫内パレットラック設置の請負契約締結	可決
昭和田商工振興センターの設置及び管理に関する条例制定の件	昭和田の商工業発展と町民の生活向上を目的とした(仮称)昭和田商工振興センターの整備に伴う条例制定	可決
昭和田税条例中改正の件	県が身体障害者等への自動車税減免規程の見直しに係る条例改正を行ったことに伴う条例改正	可決
財産の貸付けについて	貸付けの相手方が現に居住している資産を町が周辺土地を含め寄附を受けた後も、貸付けの相手方が引き続き居住できるよう無償貸与するもの	可決
令和4年度昭和田一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定を求める件(7案件)	令和4年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、下水道事業、及び湯水対策事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
令和5年度昭和田一般会計及び特別会計補正予算(6案件)	令和5年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、及び下水道事業特別会計補正予算	可決
昭和田議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定の件	改正地方自治法の規定により、普通地方公共団体の議会議員の請負禁止の範囲の明確化と緩和がされ、政令により年間300万円の範囲内での請負が可能となった。これに伴う請負の状況に関する透明性を確保するための条例制定	可決
深刻な教職員不足を改善する方策の実施、現存の加配定数を維持した上での小学校35人学級の実施、中学校における35人学級の実現、義務教育費国庫負担制度堅持と教育予算拡充を図るための請願及び意見書	現在の加配定数を維持しつつ、教員確保に向けた早急な対策や少人数教育の推進を図るとともに、義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育条件の格差解消を図るために国において教育予算を拡充することを要望する請願及び意見書	採択可決
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願及び意見書	加齢性難聴者の補聴器購入に対する国及び町の公的補助制度の創設を要望する請願及び意見書	採択可決

ほたるんに聞いてみよう!

ねえねえほたるん、3ページで「町債」についてはわかったけど「基金」についても教えてほしいな。

「基金」っていうのはね、一般家庭で例えると「貯金」みたいなもので、将来に備えたり、決まった目的に使うために積み立てたりするお金のことだよ。その中でも「財政調整基金」って言われるものは、余裕のある年度に積み立てて、災害が来たり不況になった年度に使うお金なんだ。最近では、新型コロナウイルスや物価高騰対策でお金が必要になった時にも、この財政調整基金を活用したよ。



決算審査特別委員会

印刷製本費の使途は

井口委員 印刷製本費の約75万円は啓発活動のため、具体的には啓発活動の費用とすることが、具体的にはどのようなものか。環境経済課長 令和4年度から開始している紙ストロー事業の啓発のためにポスターを400枚、ステッカーを300枚印刷した。また、それ以外に令和4年度に策定した環境基本計画の概要版を全戸配布として1万部、冊子を50部印刷した。

一括契約による効果は

河津委員 令和4年度に収集業務委託の昭和田環境事業協同組合が設立され、令和5年度は組合と一括契約となったが、契約額が上がった理由とメリットは。環境経済課長 これまでは収集品目ごとに収集業者と随意契約を結んでいたが、随意契約について議会から指摘があったことから、町内の収集業者に組合を設立していただき、それ以降組合との一括契約となった。契約額の増額は、収集処理運搬等の人件費高騰や単価上昇によるもので、令和3年度に比べれば

総事業費と進ちよくは

200万円ほど上がった。メリットは、組合との一括契約となることから契約の透明性を確保できる点であると評価している。永井委員 昭和田・玉穂中央通り線(第1工区)の総事業費と進ちよく状況は。建設課長 現在、総事業費は約13億円を見込んでいる。令和2年度から令和4年度の事業費は2億6700万円で、21%の執行率である。

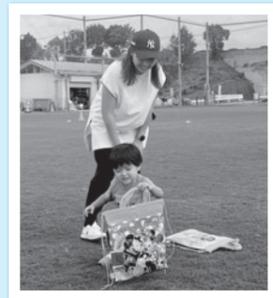
児童館ごとの金額差は

のように対応しているか。都市整備課長 経年劣化等により修繕が必要箇所については、町が行っている。特に光熱水費や警備委託料で金額の差が大きい。この理由は、子育て支援課長 常永児童館は押原・西条児童館とは違い棟が2つあることが影響している。これにより、エアコンなどの空調関係や警備について費用が高くなっている。

給付費増額の理由は

永井委員 保育所等給

付費について、令和3年度の児童数が1013人で、令和4年度が983人と減少しているのに対し、給付費が1900万円増えているのはなぜか。子育て支援課長 保育所等給付費は、それぞれの園の人員費やその他経費・事業等について、国の基準に基づき算定された額を支出している。児童数に依っても増減するが、令和4年度は国から保育士の処遇改善のために加算する指示があったため増額となった。



幼児とお母さん

9月定例会委員会質疑

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

決算審査特別委員会

寄附額向上の施策は

永井委員 令和4年度のふるさと納税事業は過去最高の寄附額となり、黒字転換したとのことであるが、今後も寄附額を増やしていくための具体的な施策は。

総務課長 令和4年度の施策としては広告事業費を使用して、「CLASSY」という女性向け雑誌への掲載を行い成果を上げた。

令和5年度は、ふるさと納税ポータルサイトを活用した広告事業を展開し、昭和町の返礼品を多くの人に知ってもらいたい。

その他、新たにポータルサイトのイオンやささとふるへの参加やPayPay商品

券を返礼品にするなど、積極的に取り組み、寄附額を増やしていきたい。

災害時の参集に問題は

野沢委員 2km以上の通勤手当の対象となる職員が半数以上を占めているが、防災上問題ないのか。

総務課長 町内外から広く採用している会計年度任用職員が占める割合が多いことが要因となっている。正職員については、基本的に町内に居住している職員が大半である。

また、町内居住の職員でも、居住場所によっては通勤距離が2kmを超えてしまう場合があり、必ずしも通勤手当受給職員が町外居住というわけではない。

不用額の理由は

河住委員 財産管理費の需要費の不用額が300万円程計上されているが理由は。

総務課長 財産管理費の需要費は電気代や光熱費等の項目であり、ウクライナ情勢等による価格の高騰が懸念されていたため、補正予算により、必要と思われる額の計上を行ったが、予想よりも費用がかからず済んだことが要因である。

不納欠損処理の理由は

小林委員 個人町民税の現年課税分で10万円程の不能欠損がある。現年課税分を不納欠損とすることは珍しいと思うが理由は。

収納課長 対象者は外国人であり、以前から滞

納があり調査していたが、すでに海外に出国していたため、滞納繰越額と現年課税分をそれぞれ不能欠損処理した。

補助金の内容と受給地区は

植竹委員 女性組織育成補助金として6地区にそれぞれ2万7000円を支出しているが、その内容と地区名は。

企画財政課長 女性を中心となり組織・運営を行っている事業に対して交付する補助金であり、現在、西条二区・清水新居区・飯喰区・河西区・上河東区・上河東二区の6地区に交付している。

ALTを置く理由は

永井委員 外国人英語指導業務委託料が高額である。ネイティブに近い英語を話せる日本人講師も

いると思うが、外国人を置く理由は。

教育長 ALT(外国語指導助手)の費用は高額であるが、近隣の市町では、ALTは授業時間のみで、授業が終わればまた別の学校に行くことが多い。本町のALTは終日学校において、休み時間や給食など、日常的に生徒とふれあい、生きた外国語の機会を多く持っている。その効果は大変大きなものがある。



生きた英語に触れる貴重な機会

産業厚生常任委員会

右折レーン設置の検討を

泉委員 中央自動車道の側道を北上し、県道市川三郷線に入る交差点は右折レーンがないため、帰宅時間は相当渋滞している。同様の交差点は他にもあるが、町内全域で右折レーンの設置を検討してはどうか。



帰宅時間は大渋滞

工場排水の報告依頼を

金丸委員 築地新居区の組長会議で、工場を再稼働するルネサスから工場排水の排出量について説明があり、甲斐市からは報告依頼があったため、昭和田には報告していただくとのことであった。

工場再稼働にあたり、昭和町から報告依頼を出してもらい、排水量と排水経路を確認したいがどうか。

農政振興係長

内容は公表していないが、ルネサスとしては依頼があれば報告することのこと。

また、排水経路は図面で確認できるように依頼する。

停止線位置の後退を

石原委員 押越区の農協付近の交差点は、甲府方面から身延線方面へ左折する際、車両が停止していると大型車両が曲がれないので、停止線位置を後ろに下げられないか。

建設課長 警察に確認したところ、横断歩道がある場合、端部から3mが停止線の標準位置であり、例外的に前方に出すことはあるが、後退は事故防止や交差点のスリム化の



大型車両は曲がりにくい

観点から原則行わないとのこと。

令和5年5月に押越区から同様の要望があったため、企画財政課を通して南甲府警察署に要望したところ、現状3・7m後退しているの、これ以上は難しいとのことであった。

配食支援事業の検討を

長田委員 甲府市では、令和5年度にヤングケアラーへの配食支援事業を実施すること。一時的な休息時間の確保や早期の実態調査からの個々のケースに沿った事業展開が狙いである。本町でも検討してはどうか。

福祉介護課長 ヤングケアラーについては、家庭内のプライベートな問題である事や本人や家族に自覚がなく、支援が必要であ



ヤングケアラー(イメージ)

ても表面化しにくいことから、相談があつて初めて実態を把握する事がほとんどである。福祉介護課としては、地域の民生委員や当事者の方から相談があつた時には個別のケースとして関係各課と連携しながら対応していく。

配食支援については、支援対象が把握できない状況でもあるので、実際に甲府市がどのような形でヤングケアラーの方々の実態把握をしているのかなどを調査し、今後の事業展開について検討していく。

総務教育常任委員会

育児休暇取得への取組は

保坂議員 山梨県では、男性職員の育児休暇取得目標を令和6年度には現在の50%から100%に引き上げる方針を打ち出しているが、本町の育児休暇取得に対する取り組みについて聞きたい。

総務課長 本町では国の制度に基づき、配偶者出産休暇が2日、男性の育児参加休暇が5日、併せて7日の取得が可能であり、実際に取得している職員が複数名いる。



あかちゃんとパパ

また、令和4年10月からは、産後パパ育休がスタートすると同時に、育児休業の分割取得ができるようになった。

今後、総務課でも県の育児制度などを参考にしながら、男女問わず、休暇を取りやすい環境整備を進め、子育てしやすい職場づくりに努めていく。

森林環境税の資料作成は

井口委員 令和元年度から森林環境譲与税が創設され、国からお金が入ってきているが、町では今まで利用されずに基金として積み立てられてきた。

令和6年度からは1人当たり年額10000円の森林環境税の徴収も始まるので、利用目的を明確に説明する資料等を新たに

作成する考えはないか。
税務課長 森林環境税の説明については、新たに資料等を作成することはせず、HPや広報等で広く周知をしていく予定である。

女性消防団員の加入は

植竹委員 山梨県における女性の消防団員数は全国的に見ても低い。本町の女性団員加入への取り組みは。

企画財政課長 現在、本町の消防団には女性消防団員は1人もいない。現状団員の定数割れはないが、今までに女性消防団員を勧誘することはなかった。



防災訓練をする消防団員

今後は、女性消防団員の存在も意識して勧誘等を進めていきたい。

防災アプリの検討を

永井議員 甲府市の防災アプリは防災マップや安否確認登録等、様々な情報を即座に確認できるものであるが、本町でも検討してはどうか。

企画財政課長 本町では、公式ラインから最寄りの避難所の検索や町が発信する防災情報、洪水ハザードマップ、防災マニュアル等の閲覧ができるようになってきているが、情報発信については、国から多種多様なアプリが望ましいとの見解が示されているので、今後も検討していく。

赤字事業の改善策は

海野委員 温水プールは、令和4年度に7000

万円近い損失を出し、10年間で4億6000万円程の赤字となっているが、改善への取り組みは。
教育長 小学校では、プールの授業が教育課程に位置付けられており、今の温水プールが使える限り、使う予定である。今後については、公共施設のあり方検討会の方針を受けながら考えていきたい。

町外利用者の料金改定を

今澤議員 温水プールは町外利用者が多く、町内利用者は不便を感じている。町民の為の施設である事を前提に、町外利用者の利用料を改定すべきでは。

生涯スポーツ係長 利用料の見直しについては、町の財政改革の中で検討していきたい。

施策を問う // ここが聞きたい //

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

一般質問の内容は議会事務局及び11月末更新のHP会議録からも閲覧できます ▶▶▶



井口 正 議員



- ① 教育現場での生成AI利用の考えは?
- ② 公立学校の教員不足への取り組みは?



野沢 敬夫 議員



- ① ゴミのリサイクル率向上の取り組みは?
- ② ゴミ出しに対する苦情への対応は?



保坂 貴子 議員



「出産・子育て応援給付金」のギフト券PRを



河住 保茂 議員



下水道の全体計画と常永駅南の進捗は?



石原 高明 議員



- ① 水道整備の遅れに対する対応は?
- ② 押原公園の駐車場増設の考えは?



長田 信夫 議員



農道改修を行い山伏川桜並木の保全を

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

Q ゴミを減らしリサイクル率を高める施策を考えているか？

A これまでの事業、施策を継続、推進するとともに、今後もリサイクル率の向上を図っていく



のざわ たかお 野沢 敬夫 議員

野沢 大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会から脱却し、循環型社会への移行が求められる昨今、日頃からゴミの軽量化や資源のリサイクル・リユースを行うことが大切であると考え、住民の参加意識を高めるための施策やゴミを減らし、リサイクル率を高める施策を考えているか。

町長 ハード面では、各地区に24時間対応のリサイクルステーションを設置しているほか、令和5年度は新しい

事業として町内3小学校へリサイクルボックスを設置し、ソフト面では広報誌へのゴミ排出量のお知らせ、リサイクルカレンダーの全戸配布など、町民への周知事業を展開している。

また、紙類の収集実績に応じた報奨金の還元や、生ごみ処理等に関する機器の購入補助制度を導入した結果、本町のリサイクル率は令和4年度は令和3年度と比べて向上した。

こうした状況を踏まえ、これまでの事業、施策を継続、推進するとともに、今後もリサイクル率の向上を図っていく。

再質問

広報に掲載しているゴミの排出量のお知らせについてだが、分析・統計をもっと違う観点から行い、リサイクル率向上につなげられないか。

環境経済課長

現在、一世帯当たりの排出量を載せているが、リサイクル率の過去5年の分

Q 公立学校の教員不足に対する取り組みは？
A 引き続き積極的に県教育委員会に働きかけていく

井口

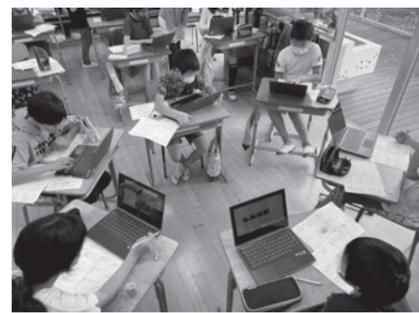
今年の7月の新聞にも一面で掲載されたように、教員の業務の多忙化を原因とするなり手不足は全国的な課題となっている。

県教育委員会からは、教員の働き方改革に関する取り組みの指針が示されているが、依然として時間外勤務は改善されていない。

また来年度には小学校4年生までの25人学級が導入されるため、教員の需要はさらに増すと思われるが、現状に対する取り組みは。

教育長

教育委員会では、教員不足の解消に向け、県教育委員会に積極的に働きかけを行った結果、現在、本町の小中学校において教員の未配置や欠員はないが、引き



タブレット端末等を用いた学習風景

Q 教育現場での生成AIの利用についてどのように考えているか？

A 学校現場の声を聞き、国や県の動向を注視しながら慎重に検討していきたい



いくち ただし 井口 正 議員

井口 文部科学省は、生成AIの活用について、ガイドラインを策定した。生成AIを教育における新たなツールと捉え、児童生徒では課題解決への利用、教職員では業務の効率化などへの利用が想定される。

全小中学生にタブレット端末が配付されている本町の教育現場では、生成AIの利用についてどのように考えているか。

教育長

飛躍的なスピードで生成AIの技術革新が進み、教育現場においても、生成A

一般質問

引き続き働きかけを継続する。

本町では、町単独で県内他自治体に例を見ることがない、多くの町単教員、教育指導員を配置し、確かな学力の向上、心身の健康、特別な支援を必要とする児童生徒へ対応等、個に応じたきめ細かな指導を行っている。

また、英語教育の充実のために、町内すべての小中学校に外国語指導助手であるALTを終日体制で配置し、児童生徒がALTと積極的に関わることが出来る環境を整え、生きた外国語教育の充実にも努めているほか、日本語指導や通訳が必要な児童生徒のための日本語指導員、心と体の健康のための養護教諭補助員、ICT教育やプログラミング学習の充実のためのGIGAスクールサポーターも配置している。

教育委員会では、伝統と歴史ある「昭和教育」の充実を図り、次代をたくましく生きる心豊かな児童生徒の育成を目指し、これからの環境の充実に努めていく。

Q ゴミ出しに対する苦情への対応は？

A 適切な排出方法の周知や収集場所の環境整備を行う

野沢

リサイクルボックスにリサイクル品が入り切らず溢れかえっている状況を目にする。ボックスの前に置いて雨等で汚れてしまえばせつかくのリサイクル品も可燃物のゴミとなってしまう。

また、ゴミ収集小屋の近隣住民から、ゴミ出しルールや騒音問題等のモラルに関する苦情も寄せられている。

町として改善策は考えているのか。

町長

収集小屋やリサイクルステーションの収集ボックスが溢れるような状況がある



リサイクルステーション

Q 下水道事業の進ちよく状況は?

A 整備計画の実施予定に向けて
順次準備を進めていく



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住 本町の下水道事業の現事業計画期間は昭和62年3月31日～令和7年3月31日となつているが、進ちよく状況は。
また、JRR身延線常永駅南の事業に関しては地元での説明会において、令和5年度に中央市と協議を行い、6年度に処理分区の変更手続きと県への申請、7年度に議会に提出して実施設計業務を行い、8年度に下水道事業の実施となつているが、こちらの進ちよく状況についても町長に聞きたい。

河住

町長

昭和町公共下水道は、昭和60年度に全体計画を策定し、昭和61年度に事業計画の認可を受け、翌年度から事業着手している。
これまで、9回の事業計画の変更を行い、認可区域を徐々に拡大する中で、事業を推進してきた。

全体計画面積に対する排水区域面積の割合、いわゆる整備率は、令和4年度末



下水道工事の様子

現在77.5%となつている。
現在、JRR身延線常永駅南の区域の汚水を中央市の下水道へ流入させるため、処理分区を変更する必要があること、また、計画期間を令和11年度末まで延伸する必要があるので、事業計画の変更を行っているところだ。

また、JRR身延線常永駅南の上河東及び河東中島地区内の整備計画は、現時点では管渠布設工事を令和8年

再質問

度を実施予定となつていて、それに向けて順次準備を進めていく。
本町では、引き続き、快適で衛生的な生活環境づくりと公共水域の水質保全を図るため、下水道事業の推進に努めていく。

上河東及び河東中島地区では、住民全員が一刻も早く下水道の事業の実施を待つていて、そのためにも嘆願書まで書いて提出している。
町では、嘆願書が出るほどの事業であるという認識はあるのか。

下水道課長

早期事業に向けての嘆願書というものを挙げていただきまして、町としても重く受けとめている。

以前から同様の質問や要望があるが、この地域については現状では、町長の答弁したとおり、令和8年度に整備の予定となつているので、実施に向けて全力で取り組んでいきたいと考えている。

Q 「出産・子育て応援給付金」のギフト券のPRを

A 対面方式での説明やホームページ等への掲載を行い、周知に努めていく



ほさか たかこ
保坂 貴子 議員

保坂

育児の悩みを抱える家庭にとって、産前産後ケアセンターは産後のお母さんの心と体に寄り添ったサポートが受けられる心強い支援の場だが、利用において自己負担のない他の自治体と比べ、自己負担のある本町の利用率は低い。
そこで、「出産・子育て応援給付金」のギフト券が施設の利用に使えることをPRしてはどうか。

また、センターでは男性の育児参加をサポートするイベントも開催されているが、本町で開催している「パ

ママ学級」の参加状況についても町長に聞きたい。

町長

令和4年度、本町の産前産後ケアセンターの宿泊利用人数は13人で出生数に対する利用率は6.2%となつている。

また、産前産後ケアセンターの利用者負担金を令和元年度から助成している都留市の利用率は、令和4年度21.4%となつている。
本町では、令和5年4月

から「出産・子育て応援給付金」として支給している5万円分のギフト券を、産前産後ケアセンター利用者負担金の支払いにも使用できるようにし、利用者の負担軽減を図っている。
ギフト券は、保健師が育児学級の折に、お母さんと面談を行い支給し、ギフト券の用途についても説明している。

今後もお母さんとの対面方式での説明やホームページ等への掲載を行い、周知に努めていく。
また、いきいき健康課で



は、子育ては妊娠中からスタートしているということから、パートナーとお二人で、産まれてくるお子さんの子育てについて考える機会にしたり、地域で子育てをしていく仲間同士で顔見知りになったりする場として、「パパママ学級」を開催しており、令和4年度は、延べ30組の参加があった。
今後、パートナーとお二人で子育てへの理解を深められるよう継続していく。

再質問

産前産後ケアセンターについては、育児学級やホームページ等だけでなくスマートフォンを使ったアプリでも案内してはどうか。

いきいき健康課長

今年度、導入作業を進めている母子保健アプリへも掲載し、案内していく。すでに運用している子育てネットも母子保健アプリへ統合する予定である。



石原 高明 議員

水道整備の遅れに対する対応は？

甲府市上下水道局へ
要望書を提出し対応していく



町道31号線

石原

市街化調整区域の開発を行う場合、水道施設が敷設されていることが必要条件であるが、町道31号線については上水道を所管する甲府市上下水道局との調整が

不十分であったため、道路拡幅工事の際、本来実施されるべき上水道の敷設工事が行われず、現在も開発が進んでいない。
住宅需要の増加に伴う商業・産業需要の増加が見込まれる中で、水道整備の遅れのために発展が進まない状況は早期に解決すべきと考えるが、これについて町の考えと対応は。

町長

上水道施設の整備要望があった場合は、その都度甲府市上下水道局へ要望書を提出している。
事業化及び整備時期の決定については、最終的に上水道局が、要望箇所の水需要がどの程度見込めるか、町の公共工事に併せて施工することで整備費用を軽減できるかなどの条件を考慮して判断している。
また、町道31号線についてだが、下水道管渠布設工事と道路改良工事は既に実施しているが、上水道整備は事業化していない。
その後、上水道施設未整



農道改修を行い山伏川の桜並木の保全を

専門家の意見を聞きながら
維持保全に努めていきたい



長田 信夫 議員

長田

山伏川の桜並木の保全については過去にも一般質問されていて、その後、東側の農道は「桜保護のため農耕車のみ通行可」とする規制がされた。しかし、現在は桜の成長により防護柵や舗装などが隆起してしまっており、桜が保全されているとは言えない状況であると感ずる。
そこで、30cmほど高い西側の農道と高さを合わせるように東側の農道に土を盛り、農道改修をすることで桜の保護を行うべきと考え、町長の考えを聞きたい。

町長

東花輪川（山伏川）は、圃場整備事業に伴い用排水路として整備され、昭和48年に河東中島地区の老人クラブの皆様により、約1kmにわたって両岸に桜を植樹され、現在では本町を代表する桜並木となっている。
また、富士山をはじめ周りの雄大な山々と重ねた景観はとても美しく、他の桜の名所にも引けを取らないものと思う。
しかしながら、植樹から50年余りが経過した現在、ごく一部ではあるが桜の樹勢に衰えが生じてきていることも承知をしているところだ。

現在の桜並木の景観を維持しながら改善を図るべく方策を講ずることが適切であると考えているので、農道機能の保全及び桜の樹勢回復や延命となりうる対応策の実施に向けて、隣接する地権者や専門家の意見を聞きながら適切な方法を調査、研究し維持保全に努めていきたい。

石原
押原公園では休日やイベントがある際、町内外から利用者が多く訪れるため、駐車場が満杯になり、路上駐車する車をよく見かけ



押原公園の
駐車場の拡充に
ついでに考えは？
駐車場不足への
対応は
喫緊の課題である

備箇所については、平成30年度に要望書を提出したが「押越区公会堂以外の新規水道使用者が見込めないことから事業化できない」と、回答を受けた。
今後、町が事業を進めている昭和・玉穂中央通り線の新設に伴い、上下水道局は上水道整備を計画しているため、それに併せて隣接する町道31号線の未整備箇所についても、上水道整備を検討するよう、要望を出していく。

町長

合体育館駐車場を臨時駐車場として使用できるよう対策をとっているが、申請が必要であり、また常設の誘導案内がないことなどから利用者は少ない。
より安全に利用するためにも、駐車場の拡充について町長の考えを聞きたい。

再質問

の確保は、これまでも検討してきたが、今後も公共施設の再編なども絡めるなかで、事業化に向けて包括的に取り組んでいきたい。

総務課長

町庁舎を始め、総合会館、公民館、図書館、プールなどの再編を含め、包括的に検討する必要があるため、具体的にどこにどの程度の数の駐車場が必要なのかどうかなどを庁内組織を立ち上げて、協議を進めていきたい。



押原公園駐車場

さて、昭和町都市計画マスタープランの交流・活性化のまちづくりの方針や昭和町緑の基本計画の公園・緑地の創出とネットワーク方針において示されている桜並木を含めた（仮称）東花輪川河川公園の整備であるが、本町における大型事業等に係る諸計画や財政状況を考慮すると、長田議員



規制されている農道

—議会視察受入—

ようこそ昭和町へ

昭和町議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和元年を最後に規制していた視察研修の受入を再開しました。



栃木県 はがまち
芳賀町議会

日時

令和5年7月14日(金)午前10時～午前11時

研修内容

芳賀町は、男性の健康寿命において、栃木県内市町の中で令和元年時点でワースト1位であることから、健康寿命が全国でもトップクラスの山梨県で、様々な健康寿命の延伸策に取り組んでいる本町を視察に來られました。

研修では、ロコモ予防検診やいきいき百歳体操などの取り組みについて説明をし、取り組みの現状や今後の課題などについて意見交換を行いました。



長野県 みやだむら
宮田村議会

日時

令和5年8月2日(水)午後1時30分～午後3時

研修内容

宮田村は、平成28年に危機管理条例を制定し運用してきたところ、実際の有事の際に思ったように活用できないでいたことから、議会BCP(業務継続計画)を令和3年に導入した本町議会の取り組みについて視察に來られました。

研修では、議会BCPの作成に携わった議員から、内容について説明を行い、運用の仕方や課題点などについて意見交換を行いました。



議会・委員会活動報告

今年もリモートで防災訓練を実施

昭和町議会

令和5年8月27日、町の総合防災訓練終了後、議員及び議会事務局で議会防災訓練を実施しました。昭和町議会では、令和2年にタブレット端末を導入してから、毎年タブレット端末やスマートフォンを使い、リモートで防災訓練を実施しています。今年も西条・押原・常永の各地区にいる議員から現場の状況を

ビデオ通話機能を使って、災害対策本部に報告する訓練を行いました。

災害が発生した際に、リアルタイムで被災状況を伝えられることは大きなメリットとなるので、今後も訓練を続けていきます。



議会災害対策本部にリアルタイムで状況報告



問題点を協議し次回に活かす

デザインカアアップのため開成町議会を視察

広報編集
常任委員会

広報編集常任委員会は、令和5年9月27日・28日の2日間で、東京で開催された町村議会広報研修会への参加、及び神奈川県開成町議会の視察研修を行いました。

27日に開催された町村議会広報研修会では、広報担当者向けの法律知識やデザインについての講義があり、その中でも特に読者の目を引かせる記事

の作り方の講義が参考になりました。

28日に行った視察研修では、令和3年度の広報コンクールで奨励賞(編集・デザイン部門)を受賞した開成町議会を訪問し、編集時に気を付けていることや参考にしている資料などについて教えていただきました。今回の研修で得た知識を今後の広報編集に活かしていきます。



町村議会広報研修会



開成町議会にて研修



開成町議会のギカイだより

議会の動き(一部掲載)

7月	7日(金) 町議会 期議員研修会
	11日(火) 国中6町議会議員研修会
	13日(木) 全員協議会
	14日(金) 栃木県芳賀町議会視察受入
	18日(火) 町議会広報研修会
	20日(木) 情報化研究会
	甲府地区広域行政事務組合 議会臨時会
8月	24日(月)～31日(月) 決算審査
	1日(火)～9日(水) 決算審査
	2日(水) 長野県宮田村議会視察受入
	3日(木)～4日(金) 広報編集委員行政調査
	10日(木) 全員協議会
	2市1町正副議長事務局会議
	24日(水) 全員協議会
	25日(金) 広報編集常任委員会
	27日(日) 議会運営委員会
9月	27日(日) 議会防災訓練
	1日(金)～15日(金) 令和5年第3回定例会(9月議会)
	4日(月) 広報編集常任委員会
	20日(水) 広報編集常任委員会
	27日(水)～28日(木) 町議会広報研修会
	27日(水)～28日(木) 神奈川県開成町視察研修

◀昭和町議会の全日程表はこちら



議会クイズ

次の問いに教えてください。

Q 令和4年度決算審査
町民〇〇〇〇〇〇の決算を認定!!

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。



No.198に
対する

こんなご意見をいただきました!

今回女性議員さんが2人になりご活躍を楽しみにしています。議会見学をした皆様の立派な感想を読み、これからの昭和町の未来は安泰と思いました。
八ガキにて(86歳・女性)

住みよい町作りの様子がよく分かります。
メールにて(46歳・女性)

8ページの給食費の無償化の記事に特に関心を持った。無償化を目指すことと現状価格が最安値であることは議論として違うと考えるため、考えるのではなく実施するためにはどうしたら良いのか行動して欲しいと思います。
メールにて(35歳・男性)

5月臨時会で決まったこととして、住民税非課税世帯に5700万円が給付されることに驚きました。あまりにも多額だからです。一世帯あたり3万円ではあります。私たちに出来ることはないかと考えました。ひとりひとりに少しの寄付(家にある食料品など)は、持ち寄り非課税世帯に配ることが出来ると思います。この夏休みも、子どもたちがお腹いっぱい食べられているのか不安です。皆さん、家に眠っている食料をフードバンクに持ち寄りませんか。
メールにて(64歳・女性)

ご意見をいただいた方には個別に
回答させていただきます。

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
- ④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もあれば、お願いいたします。

No.198のクイズの答え

押原

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX:055-275-0370
- メール
gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》11月末日 消印有効



この度「議会だよりしょうわNo.195」が令和4年度山梨県広報コンクール議会広報紙町村部において、最優秀賞をいただきました。今後も町民みなさまに手に取ってもらえる議会だよりを目指し、研鑽を重ねてまいります。



県広報コンクールで最優秀賞受賞

7月11日、富士川町で開催された国中6町議会議員研修会に参加しました。研修会では、長崎幸太郎知事から県が実施する事業の説明があり、その後、意見交換を行いました。



国中6町議会議員研修会に参加



「議会だよりしょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は「議会だよりしょうわNo.198」について、議会モニターのみなさんからいただいた貴重なご意見等をいくつかご紹介させていただきます。

議会だよりしょうわNo.198について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

「はじめての議会見学」について

●押原小学校6年生が議会を傍聴したことは素晴らしい経験だと思う。成長しながら議会のことを聞かたび、見学した議会のことが思い出されると思う。いい企画だと思うので、ほか2校の小学校にも広げてはどうか。

「ほたるんのピックアップ!」について

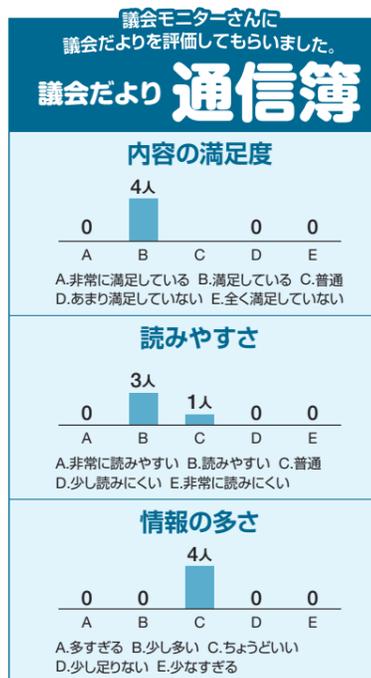
●町の事業の内容がわかりやすく良いと感じた。
●町長の政策(4本の柱)が予算にどのように反映されているのかが分かって良かった。

「委員会質疑」について

●町の公式LINEのPRを積極的に行う提案は良いと思う。私も今回の議会だよりに掲載されていたQRコードで登録し、実際に使用してみて、ゴミ出しの連絡等は便利だと思った。

「一般質問」について

- (みんなが元気で安心して暮らせる地域へ/今澤議員)に対して
 - 昭和町は高齢化率が低い中で私自身は高齢であり、住み慣れた地域で住み続けたい気持ちに共感したため、大変興味深く何度も読んだ。支え合いのまちづくりに期待する。
- (自治会加入促進のためにクーポン券配布を/長田議員)に対して
 - 自治会役員のなり手不足の解消や未加入者の解消は各地区で共通の問題であり、関心を持った。



追跡



あの質問はどうなった?

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追跡

医療用ウィッグ(かつら)の補助は?

令和5年3月議会 一般質問
河田 あけみ 議員

問

がん患者への医療用ウィッグの補助について、今後の取り組みを聞きたい。

答

いきいき健康課において、当事者の声を聞くとともに、がん対策基本法に基づく社会の動きやほかの自治体の取り組みなどの調査研究を進めてきた。医療用ウィッグ等の費用助成については「がんとの共生」を支援することにつながると考えるため、令和5年度中に着手する。



ウィッグをつける女性

こうなった

令和5年6月定例会において、医療用ウィッグや補正下着、人工乳房の購入費の助成に関する説明がされた。この取り組みは山梨県内では初めてである。助成額の上限は、医療用ウィッグ等が2万円、補正下着が2万円、人工乳房が10万円であり、いずれも1人1回までとなっている(補正下着と人工乳房の併用申請は不可)。問い合わせはいきいき健康課(055-275-8785)まで。



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む皆様にご意見・ご感想を伺いました。



バランスの良い町



西条二区

雨宮 裕也さん
あめみや ゆうや

私は、昭和町で生まれ育ち、3人の子の親となつた今もこの町に住み続けています。昭和町は、自然環境、コミュニティ、産業のバランスが良い町だと思います。

まず、美しい青空と豊かな緑に恵まれて、四季折々の風景が楽しめます。自然を感じながらピクニックができる大きな公園もあります。昔から続く地域のお祭りなどが盛んに行われ、住民が交流する機会も豊富です。

自然豊かな一方で、たくさん商業施設があり、様々な企業や工場が雇用を提供しており、経済的にも安定感があります。様々な点で住みやすく、子育て世代から人気を集めているのも納得です。私の両親や祖母もこの町で暮らしておりますので、今後、高齢者の生活支援や医療施設の充実などを期待しています。

最後に、これからも昭和町に住み続ける町民として、地域住民、自治体、地元企業などが協力し、地域の特性や資源を活かした持続可能な発展を続けていける町であることを願います。

日々の生活に感謝をこめて



上河東区

室伏 美紀さん
むろふし みき

私は富士川町出身、主人は静岡県出身ですが、縁あって常永土地区画整理地に居住して13年になります。息子と娘は常永小学校、押原中学校を卒業して進学し、この春それぞれ大学生と高校生になりました。家族としては、ちょうど新たな節目を迎えたところです。

昭和町は通勤通学、買い物に便利な環境というだけではなく、中央道や、中部横断自動車道へのアクセスが良いこと、比較的災害に強いことなど様々な点で魅力を感じる町です。しかし数年前のことですが、交流のあった近所のご夫婦が「好きだった田園風景が変化してしまった」と引越していかれました。発展する町の姿に相反して消えた風景があり、昔から住まわれている方々が急激に変化する故郷の姿に、期待と共に戸惑いも感じてこられたことに想いを馳せました。

私は新しくこの地に居を構えたものとして、昭和町の歴史と今後の変化に関心を持ち、恵まれた環境に感謝して暮らしていきたいと考えています。

編集後記

今年の夏も猛暑が続きましたが、やっと過ぎやすい季節になりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。議会からの情報発信の役割の一つとして議会だよりがあり、今号にある決算審査特別委員会でも、各議員から様々な意見が出ました。

今後も、行政と議会がどのように関わり、まちづくりに議論を交わしているか、町民の皆さまにできるだけわかりやすく、親しみのある紙面にしていきたいと思っています。また、ご感想ご意見をいただければ、編集の参考とさせていただきますので、お寄せください。最後に、議会定例会は、どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しくださいと思います。

広報編集常任副委員長 長田 信夫

広報編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 泉 敏弘 |
| 副委員長 | 長田 信夫 |
| 委員 | 今澤 幸広 |
| | 保坂 貴子 |
| | 永井 敏正 |
| | 井口 正 |

議会を傍聴しませんか??

次回定例会は

12月1日(金)

開催予定です

【お問い合わせ】
☎275-8842(議会事務局)

